

平成28年9月定例会の概要

9月定例会は、平成28年9月6日から21日までの会期16日間の日程で開催しました。

今定例会では、22億7510万円の一一般会計補正予算(第4号)案などを審議し、それぞれ可決、認定しました。ここでは、補正予算特別委員会での主な質疑の内容を紹介をします。

補正予算特別委員会 (質疑の抜粋)

【総務費】

新庁舎建設について

Q 実施設計後の最終調整における建設工事費の1㎡あたりの単価が基本設計時より増加した理由について問う。

A 経費節減の方針に変わりはなく、耐震性を高めること、物価上昇による建設資材の高騰などから見積額が増加した。

Q 新庁舎建設に伴う、テレビ受信障害に対する37件の補償が20年分の理由及び20年分を一括負担

することにしているのか。

A 国の公共施設設置における電波障害の補償の基準が20年となっていること、三原テレビ放送の視聴料が、20年間パック料金が安価であることから一括負担とした。

【衛生費】

清掃工場における処理手数料の改正について

Q 清掃工場へ廃棄物を搬入する際に、受付付近で渋滞が発生するが、処

理手数料改定に伴い、計量器や料金徴収機の更新はどうするのか。

A 計量システム更新時に、コンパクトな計量棟を運転席側に設置することから、受付時の渋滞が緩和される。



三原市清掃工場

バイザー招へいなどを予定している。

Q 加盟店の店舗数と今後の見込みについてはどうか。

A 平成28年8月末現在で会員365店舗中30店舗が加盟、29年度末に200店舗の加盟を目標としている。

【教育費】

日本遺産の申請事業

Q 今回の申請は「三矢の訓」協定に基づき、本市と安芸高田市と北広島町と協同して市町間連携の申請(シリアル型)だが、全国の申請件数と認定の可能性はどうか。

A 27年申請件数は83件で、18件が認定。うちシリアル型が10件である。認定可能性は、27年・28年で申請150件中、認定37件であることから可能性は24・7%である。

Q 日本遺産申請の経費



「三矢の訓」協定締結調印式

内訳と認定後の取り組みについてはどうか。

A 申請にかかわり、文化庁との協議に必要な8人分の旅費と安芸高田市と北広島町が所有する文化財群の整理、ストーリー構築の業務委託経費である。認定後は、魅力の発信を通じて地域ブランド力高め、伝統文化を通じた地域活性化を図る。

【討論・採決】

補正予算特別委員会

審査された一一般会計補正予算(第4号)案ほか2件の議案のうち一一般会計補正予算について反対の討論が行われた。

・反対討論

今年度の市庁舎建設費21億2450万円及び4年間の継続費62億8210万円に反対する。耐震補強が可能な市庁舎を新築し、事業費が多額であり、更に将来の人口、職員減を推計した規模になっていない。

【採決】

討論された一一般会計補正予算案は、起立採決の結果、賛成多数で可決。ほか2件の特別会計補正予算案については、全員一致、原案どおり可決した。

※採決の結果は、15ページ及び三原市議会ホームページ内の「議決結果」をご参照ください。

平成28年9月定例会 一般質問

市政を問う

今定例会では16人の議員が一般質問を行いました。詳細な内容は、会議録を製本の後、三原市議会事務局、市役所情報公開コーナー、三原市中央図書館に置いています。また、三原市ホームページでも会議録、本会議の録画映像を閲覧できますのでご覧ください。(会議録の製本には、議会終了後おおよね3カ月を要します。)

HPアドレス
<http://www.city.mihara.hiroshima.jp>
↓
市議会
↓
会議録検索 映像ライブラリー